

GM

ガバナー月信

Rotary
District 2710



Governor's Monthly Letter vol.10

2024.04

vol.10



〔ガバナー信条〕
平和の種をまこう!!
〜ロータリアンにできること〜

Contents

ガバナーメッセージ/今号の表紙写真 2
環境月間に寄せて 3
IM報告 4~6

平和を求める青少年の活動を知る⑥/新会員・物故会員紹介 7
会員増減・出席率/地区大会予告広告

2023-24 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ロータリーと青少年

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー 井内 康輝



昨年11月の地区大会で2日目の午前中に“青少年とロータリーの時間”というプログラムを設けましたが、参加していただいたロータリアンが少なく、残念な思いをいたしましたので、改めて青少年とロータリーのかかわり方について、私の思うところを述べさせていただきます。

ロータリーはこれまで、奉仕の理想を、成年、しかもある程度、社会の中で成功をおさめた社会人に浸透させることを目的としてきましたが、これからは、われわれの後継者たる青少年に、この理想を受け継いでもらう必要があります、そのために様々なプログラムを提供することで、青少年に機会を与える努力をしています。まず、海外への学生の派遣（青少年交換）であり、2023-24年度も4名の高校生がアメリカとフランスへ、3名の高校生が日本を訪れて、それぞれ高校生活を送っています。海外から日本に学びの場を求めてくる外国人学生のための奨学金（米山記念奨学金）については、2023-24年度は25名の留学生に奨学金を授与しています。また、青少年のグループ単位での奉仕活動を支えるのがインターアクトクラブであり、現在、各地の高校に20クラブがあり、500名以上の高校生が活動してくれています。ローターアクトクラブは残念ながら、現在5クラブしかありませんが、ローターアクトクラブのあり方を見直す時であり、世話クラブとの関係や自立した奉仕活動について、模索してみたいと思っています。また、そうした活動の際のリーダーシッ

プを学ぶ機会としてRYLAセミナー（青少年指導者養成プログラム）があり、2023-24年度も江田島において2泊3日で開催します。

ロータリークラブの奉仕活動としては、社会奉仕や国際奉仕に注目が集まりがちとなり、こうした青少年を対象とした活動はどちらかと云えばマイナーな分野とみられがちと思われます。しかしこれからの日本を託すべき青少年がどのような成長を示すかには、われわれとして大きな関心を払う必要があります。日本の学校教育制度は識字率に代表されるように、世界に冠たるレベルにありますが、昨今の教育には大きな改革が図られています。特徴的なことは、従来とられてきた教員からの伝授型の教育ではなく、こどもひとりひとりの個性を尊重したアクティブ・ラーニングの重要性が強調されている点です。画一的な教育から、個に応じた学びの中から個の能力を引き出す形での教育が取り入れられています。

こうした中では、単にこどもの学びを学校教育にだけ頼るのではなく、学校の枠をこえて社会の中でも学ぶ機会を提供していく必要があるでしょう。ロータリーが求める“奉仕の理想”をもつ人材は、ロータリークラブが支援するさまざまな体験や思索を重ねることで育まれるはずで、それぞれの年齢に即した様々な活動が可能となるよう、ロータリーの青少年奉仕が対応していければよいと考えています。

今号の表紙：平和の像（若葉）

1966年広島南ロータリークラブ創立10周年記念事業として、広島県出身の彫刻家円鋳勝三氏に依頼して、平和公園内に制作されました。台座には、ノーベル賞受賞の物理学者湯川秀樹博士が詠まれた短歌が刻まれています。「まがつびよふたびここに くるなかれ 平和をいのる 人のみぞこは」（「まがつび」とは、禍つ日の神の略で、災害・凶事を起こす神のことです。イザナミノミコトがお祓いの時、污垢から化成した神です。）湯川博士は、戦後、核兵器も戦争も悪だと訴え続けました。言うまでもなく、「まがつび」は原爆を指しています。



環境月間に寄せて

国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト

上田 文雄



国際ロータリーの7つ目の重点分野として2021年に環境分野が追加されました。2023年7月は過去10万年で最も暑い7月になったとして、昨年8月に国連のグテーレス事務総長は「地球沸騰化の時代が来た」と警告しました。暖冬、集中豪雨の頻発、干ばつによる山火事激化や砂漠化など環境変化の影響は次第に身近に感じられるようになってきています。また、プラスチックごみによる海洋汚染や、海水温の上昇で従来取れていた魚が取れなくなった等の海の変化も大きな話題になっています。環境分野は、7つの重点分野の中では最も日本の中で取り組みやすいという要素もあります。学校でも国連のSDGsについて積極的な教育が行われています。SDGs17分野のうち4分野が環境分野です。このため、大人より子供たちの方が環境分野に関する意識は高いかもしれません。子供たちの作った環境啓発に関するポスターがデパートやスーパーで展示されている例を見かけることが多くなりました。是非家庭や会社で環境分野への取り組みができないか検討してほしいと思います。

私の家では、孫が生まれたときに、娘から家が寒いので孫を連れて泊まりたくないと言われました。そこで窓ガラスの後付けでの複層ガラス化、床下と屋根裏の断熱施工をしました。これによって、窓ガラスの結露は無くなり、ストーブやこたつは使わずエアコンだけで済むようになり、冬は暖かく快適で、夏はエアコンの使用量が減り光熱費も安くなりました。動機は違いますが結果的に

環境に貢献することができました。なお、現在はこのようなりフォームに対して国や自治体の補助金もあります。また、会社では照明をLEDへ変更するなどの節電と、太陽光発電装置を設置した発電を行っています。発電量は本社工場の年間使用電力量の約1/3に相当する量になっています。更に、本業でも自動車用リチウム電池製造装置の製作に取り組むなど環境に貢献できる分野の仕事をしています。これから、脱炭素への取り組みとして、政府や各企業で莫大な投資が行われます。ビジネスチャンスも大きく広がると同時に、企業の環境分野へ取り組み姿勢を評価される時代になってきています。皆さんの家庭でも、少しでも環境に良いことができないか、会社でも職業奉仕として、環境分野に取り組めることが無いか検討してほしいと思います。

クラブとして取り組める課題の例としては、2022年の地区研修協議会で日本財団の講演にあった瀬戸内海へのプラスチックごみの流出問題（民間のNPO法人もある）や自然保護などがあります。また、お隣の2700地区では従来から環境分野に取り組まれており、地区として環境会議に参加するなどの取り組みをされています。その中で宗像ロータリークラブは漁協と協力してブルーカーボンとしての藻場の再生に取り組んでいます。更に、グローバル補助金にもチャレンジしてほしいと思います。奉仕活動への意識を高めるきっかけとしても、ぜひ環境分野に取り組んでください。

IM報告 (開催順)

Group2
グループ

| 2024/2/3

Group4
グループ

| 2024/2/17

Group3
グループ

| 2024/2/18

Group5
グループ

| 2024/2/23

Group6・7
グループ

| 2024/2/25



国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ2ガバナー補佐
萩RC **小林 亨**

令和6年2月3日、萩本陣にて、国際ロータリー第2710地区グループ2のI・Mを開催いたしました。ご出席いただきました皆様、開催の準備にご協力いただいた皆様へ心より感謝申し上げます。会議の前半では、哲学者で山口大学国際科学部教授である小川仁志先生から「哲学から平和を考える」という題で基調講演をいただき、平和を考える哲学について学びました。ワークショップでは、より具体的に私たちの奉仕活動と平和を考え、意見交換をしました。懇親会では、萩光塩学院メルセダリアン・インターアクトクラブによる書道パフォーマンス、元ロータリークラブ会員の方による変面ショー、最後には平和に思いを巡らせながら、「Imagine ♪」等、癒しのピアノ演奏を鑑賞しました。本会議から懇親会まで、「平和」にこれまで以上に深く思いはせながら過ごす1日となり、素晴らしいI・Mとなりました。皆様にあらためて心より御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。





国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ4ガバナー補佐
光RC **和田 巧**

「平和の種をまこう」のテーマのもと、ウクライナ出身のジャブコ・ユリア氏を講師に迎え、現在進行形であるウクライナ戦争の現状とウクライナの歴史について学びました。

「ウクライナ人にとって平和とは」という演題で、テレビなどでは報道されない現状を知ることができました。

国土を失い主権を失い自由を失った状態での戦争終結は、ウクライナにとって「平和」とはいえない…それを取り戻してこそ「平和」がある…だからウクライナは闘う…ウクライナの考え方に衝撃をうけました。

「戦争さえやめれば平和が訪れる」という一部マスコミや政治家の論調が、いかに底が浅いものであったかが分かりました。

我々が享受している平和も自由も平等も、そこに偶然あるものではない…先人の汗や血や涙と、同時代の様々な方々の働きによって、ようやくと成り立っている繊細なものである…だからこそ我々はこれを丁寧に扱い、次世代に残せるよう不断の努力をしなければならない…改めてそう感じた夜でした。



国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ3ガバナー補佐
山口RC **香川 智弘**

2月18日（日曜）、かめ福オンブレイス（山口市湯田温泉）において、会員等約200名の参加を得て開催しました。ガバナー信条をテーマに、今日の平和を永続し、恒久なものとするために私たちロータリアンがなすべきことについて学びました。第一部（過去を学ぶ）は「渡辺 孝」氏による基調講演「NHKディレクターの見つめる戦争」を聴講しました。NHKに勤務する渡辺氏は、第二次大戦における私たちが決して忘れてはならない真実を追求され、多くの書籍を著しており、映像を交えた貴重な話を聞くことができました。第二部（現在を学ぶ）では、6クラブがそれぞれガバナー信条に基づく活動状況を発表し、第三部（未来に向けて）では、青少年、野田学園高等学校のインターアクトクラブの活動報告に続き、同高校の合唱部による平和をテーマにした昭和・平成の歌の発表を聞き、最後は、参加者全員で「希望の歌」を合唱して、感動の内に会を閉じました。その後は5年ぶりの懇親会によってグループ内の親睦を深めました。





国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ5ガバナー補佐
柳井RC **和田 実**

国際ロータリー第2710地区G-5のIMは2月23日（金）柳井RCをホストクラブとし柳井クルーズホテルにて、井内康輝ガバナーをはじめ7名のご来賓をお迎えし、G-5の各クラブより220名の登録を得て開催致しました。

この度のIMは、ガバナー信条に基づき、「命を大切に 可能性を信じて」というテーマで行い、私達がどのような平和の種を撒くことができるのかを考える機会と致しました。

基調講演は、戦場カメラマンの渡部陽一氏をお迎えし、「平和のあり方～戦場と平和と写真の力～」という演題でご講演をいただきました。ご講演内容は、戦場カメラマンの職業になった経緯から始まり、紛争の歴史的背景、戦地の病院事情や子供たちの現状など、写真を通じ身振り手振りでお話をされました。

その後は懇親会へと移り、柳井RC会員2名によるクラリネット演奏や、同会員のご実家で育てられている盆栽の金額当てクイズを行うなど、会員相互で親睦を深め閉会となりました。

むすびに、IM開催に際し主計実行委員長、森木・友瀬両副実行委員長をはじめ、柳井RC会員の皆様と事務局、そして各クラブの会長・幹事様ならびに会員の皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。



国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
グループ6ガバナー補佐
広島安芸RC **小林 英生**



国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
グループ7ガバナー補佐
広島中央RC **嶋本 文雄**



2月25日（日）広島リーガロイヤルホテルにて、約500名の会員を迎え、グループ6、7合同のIMが開催されました。

IM実行委員長宣言で開幕を迎え、点鐘、主催者代表挨拶、来賓挨拶、井内康輝ガバナーの挨拶と進みました。

講演1では、国立国際医療研究センター国府台名譽院長上村直美先生の「ピロリ菌の感染と胃がんとの関連」がありました。オーストラリアの研究者によるノーベル賞の受賞に、世界的にも大きな貢献をされ、先生たちの研究で現在胃がんの死亡率も減少してきています。

講演2は、4歳の時広島に移住され、「わたしは広島人」といわれている、ティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使は「わたしが日本でやってきたこと」の講演をされました。一時帰国されたころにロシアにより一部が占領され、国が領土よりは人間のかけがえない命を選択した状況をお話されました。

次年度ガバナー補佐紹介があり、グループ6ガバナー補佐小林英生氏の閉会挨拶、閉会宣言、点鐘にて終了しました。

最後に広島中央ロータリークラブをはじめ多くの方のご協力に感謝申し上げます。



第6回

平和を求める青少年の 活動を知る

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー
井内 康輝

「他の自治体から子どもたちを平和学習のために受入れる取組み」

広島市以外の自治体では、平和学習への取組みは必ずしも十分とはいえません。広島市・県ではこれまで、青少年を海外の国際機関などに派遣する事業を展開していますが、広島で行われている平和学習に、他の自治体からの子どもたちを受入れることは活発ではありませんでした。近年、広島市と平和文化センターが共同して、「ヒロシマ青少年平和の集い」と「ひろしま子ども平和の集い」を実施し、広島の掲げる“平和文化”の創造が、全国で展開するような活動を始めました。前者は、2023年8月5日に広島市役所において、全国の中・高校生、13団体154人が参加し、広島の中・高校生ピースクラブ（27人）が主体的に運営し、原爆被害の概要説明や被曝体験講話のあと、グループディスカッションを行いました。後者は、2023年8月6日に広島国際会議場で、国内のグループ約1,200人が参加し、10団体からの平和の取組みの発表があり、共同メッセージの作成を試みました。こうした青少年による平和活動を促すような取組みは、今後、平和を願う運動の主軸になるものと思われます。

《 国際ロータリー第2710地区 新会員・物故会員紹介 》



上田 巖
防府北
2024年3月4日
社会福祉事業



上野 真吾
光
2024年1月15日
石油ガス小売業



清水 祐希
光
2024年1月15日
加工食品卸売業



高島 光洋
光
2024年1月15日
歯科医



恵美 祥一郎
岩国
2024年2月23日
電力供給



藤本 晋一郎
広島北
2024年1月18日
地方銀行



瀧川 洋一
広島東南
2024年2月5日
保険サービス業



寺西 浩一
広島西南
2024年2月6日
宝飾品卸売業



脇谷 康紀
東広島
2024年3月6日
自動車整備



吉平 龍観
因島
2024年2月1日
仏教



武河 隆司
福山
2024年2月26日
新聞発行



加藤 秀章
福山
2024年2月26日
百貨店



丸尾 和也
福山
2024年2月26日
一般送配電事業



桑木 雄一
福山丸之内
2024年2月1日
証券業



茂原 祥司
福山西
2024年2月6日
古物商



宮崎 基
福山西
2024年3月5日
一般機械器具製造業



佐々木 勝利
三次
2024年3月7日
自動車部品製造

謹んで
追悼の意を
表します



下関北 故伊藤 昭男 殿
ご逝去（享年88歳）
2024年1月1日
【ロータリー歴】
2009-10年度 会長
ベネファクター
ポール・ハリス・フェロー +1
【職業分類】
合織・ローブ製造

《 国際ロータリー第2710地区 2023-24年度会員増減・出席率 (2024年2月度) 》

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数			
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	本年度 入会 退会
1	長門	94.68	21	22	3	2 1
	下関	69.54	45	44	2	2 3
	下関中央	74.50	40	44	6	4 0
	下関東	75.42	62	64	5	2 0
	下関北	73.80	65	59	5	1 7
	下関西	87.55	31	31	1	1 1
計	79.25	264	264	22	12 12	
2	萩	98.33	49	46	4	1 4
	萩東	96.24	24	26	1	3 1
	美祿	81.33	19	20	1	2 1
	小野田	83.53	33	34	2	1 0
	宇部	92.06	43	42	3	1 2
	宇部東	75.20	10	10	1	0 0
	宇部西	89.12	50	53	5	3 0
計	87.97	228	231	17	11 8	
3	防府	85.98	50	55	1	6 1
	防府北	93.18	22	24	4	4 2
	防府南	81.29	45	46	9	2 1
	山口	89.10	40	47	5	7 0
	山口県央	89.08	26	26	1	2 2
	山口南	93.25	40	39	8	3 4
計	88.65	223	237	28	24 10	
4	光	75.31	51	55	3	5 1
	周南西	82.05	57	56	6	5 6
	徳山	98.78	44	43	2	1 2
	徳山セントラル	74.53	22	22	2	0 0
	徳山東	100.00	43	44	1	1 0
計	86.13	217	220	14	12 9	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数			
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	本年度 入会 退会
5	岩国	78.36	62	65	0	6 3
	岩国中央	84.81	40	39	6	1 2
	岩国西	86.60	59	60	5	3 2
	柳井	100.00	28	29	2	2 1
	柳井西	96.82	25	27	7	3 1
	計	89.32	214	220	20	15 9
6	広島	98.65	113	132	2	22 3
	広島安芸	98.08	41	40	3	1 2
	広島安佐	87.39	17	17	1	1 1
	広島東	96.60	108	118	11	10 0
	広島北	93.43	104	102	0	3 5
	広島陵北	92.83	48	47	2	1 2
	大竹	84.62	27	27	0	1 1
計	93.09	458	483	19	39 14	
7	広島中央	100.00	72	71	5	1 2
	広島廿日市	93.65	20	25	2	5 0
	広島城南	99.64	40	41	3	1 0
	広島南	100.00	87	85	0	2 4
	広島東南	100.00	93	95	12	8 6
	広島西南	96.17	63	64	1	5 4
	広島西	99.40	89	91	5	2 0
計	98.41	464	472	28	24 16	
8	江田島	91.32	18	18	0	0 0
	東広島	83.57	22	22	2	0 0
	東広島21	83.43	16	16	4	1 1
	呉	86.26	73	74	3	3 2
	呉東	82.26	32	32	2	0 0
	呉南	87.97	56	56	2	1 1
	西条	98.12	38	40	2	3 1
計	87.56	255	258	15	8 5	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数			
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	本年度 入会 退会
9	広島空港	80.58	28	28	2	0 0
	因島	98.51	16	17	0	2 1
	三原	90.82	49	51	0	4 2
	尾道	73.01	80	78	3	0 2
	尾道東	90.80	49	49	7	1 1
	竹原	78.85	11	11	2	1 1
計	85.43	233	234	14	8 7	
10	府中	94.55	17	14	2	0 3
	福山	91.70	86	85	2	6 7
	福山東	74.64	42	40	3	0 2
	福山丸之内	89.32	29	27	1	3 5
	鞆の浦	83.50	21	20	0	0 1
	福山REC2710※	98.61	8	9	1	2 1
	計	88.72	203	195	9	11 19
11	福山赤坂	70.10	52	52	4	1 1
	福山北	94.98	30	31	2	1 0
	福山西	75.94	56	58	2	3 1
	福山南	86.18	36	40	5	5 1
	松永	89.91	49	54	4	5 0
	計	83.42	223	235	17	15 3
12	吉舎	86.46	10	10	0	0 0
	三次	79.94	38	40	2	3 1
	三次中央	91.32	34	36	5	2 0
	庄原	95.21	37	30	4	0 7
	東城	78.20	14	14	1	0 0
計	86.23	133	130	12	5 8	
第2710地区計	87.62	3115	3179	215	184 120	

※正式名称 [福山ロータリーEクラブ2710]
 ※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

2024-25年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会 in 岩国

2024. 10/25 [金]・26 [土]・27 [日]

行動しよう
未来のために。



Rotary District 2710

- 地区大会 前日 10/25 [金] ■和木ゴルフ倶楽部
◎記念ゴルフ大会
- 地区大会 1日目 10/26 [土] ■岩国国際観光ホテル
◎大会委員会 ◎会長・幹事会
◎基調講演 ◎RI会長代理歓迎晩餐会
- 地区大会 2日目 10/27 [日] ■大会 / シンフォニア岩国 ■懇親会 / 岩国国際観光ホテル
◎本会議
◎記念講演：吉藤オリイ氏(予定)
(株)オリイ研究所 所長

[プロフィール] 高校時代に電動車椅子の新機構の発明を行い、国内最大の科学コンテストJSEECにて文部科学大臣賞、世界最大の科学コンテストIntel ISEFにてGrand Award 3rdを受賞、その際に寄せられた相談と自身の療養経験から「孤独の解消」を研究テーマとする。



国際ロータリー第2710地区 2024-25年度ガバナー 上田文雄

- ホストクラブ 岩国ロータリークラブ
- コホストクラブ ■岩国西ロータリークラブ ■岩国中央ロータリークラブ ■柳井ロータリークラブ ■柳井西ロータリークラブ